

あきた 市議会だより



元気に冬をのりきるぞ！（エコー少年ラグビークラブの新年球はじめ）

No. 121

平成18年2月1日

発行／秋田市議会

編集／あきた市議会だより編集委員会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

電話018(866)2233 F A X 018(865)7857

ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council>



「あきた市議会だより」は
再生紙を使用しています

秋田わか杉国体マスコット
「スギッチ」

12月定例会、1月臨時会の概要

2～3 P

大森山動物園条例を設定

16年度一般会計・特別会計決算を認定

意見書、陳情の結果

一般質問

4～7 P

常任委員会の審査、議会の動き 8 P

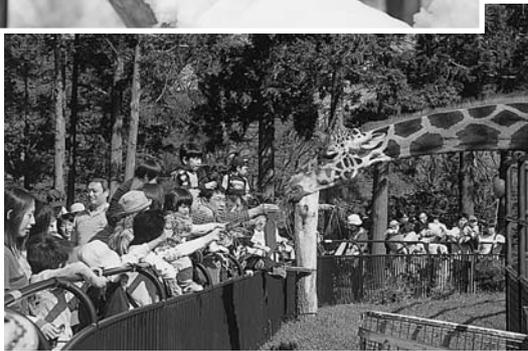
12月定例会・1月臨時会の概要

12月5日～22日

1月24日

12月定例会では、16年度一般会計および特別会計歳入歳出決算等を認定したほか、秋田市大森山動物園条例の設定など条例案5件、補正予算案10件、単行案21件、意見書案2件を可決し、陳情3件を採択しました。また、教育委員会委員の任命などに同意しました。

1月臨時会では、補正予算に関する専決処分2件を承認したほか、意見書案1件を可決し、助役の選任などに同意しました。



大森山動物園条例を設定 さらに魅力ある動物園に

12月定例会

条例

秋田市大森山動物園条例を設定

大森山動物園の設置理念と事業等を明確にし、市民のさまざまな要請に応えていくため、新たに条例を設定しました。条例では、その理念を「動物園は、大森山の豊かな自然

の中で、動物との出会いおよびふれあいを通して、市民のレクリエーションの場を提供することにより、自然および命の大切さについて学び、かつ、動物の命をつなぐ場を目指すものとする」と定めています。

また、1月と2月の土曜、日曜、祝日（1/1、1/3は除く）の午前11時から午後2時まで、大人300円（中学生以下は無料）で開園します。

予算

補正予算の内訳 (単位：千円)

会計別	現計予算	補正予算	補正後予算
一般会計	118,137,388	501,274	118,638,662
特別会計	78,042,111	85,563	78,127,674
企業会計	48,230,822	-	48,230,822
総計	244,410,321	586,837	244,997,158

農地農業用施設災害復旧事業補助金

10月1日から2日の豪雨により被災した農業用施設を復旧する土地改良区に対し、復旧費の一部を補助します。

- 被災箇所および被災状況
雄和下黒瀬黒瀬沢地内
ため池堤体貫通流出
外旭川万治沢地内
水路溝畔決壊
下浜榎田宮田表地内
水路溝畔決壊

林業施設災害復旧事業

10月1日から2日の豪雨により被災した林道「国見山線」を復旧します。

- 被災箇所および被災状況
豊岩豊巻字笹山地内
路肩決壊

NHK秋田新放送会館建設用地土壌処理経費

市と日本放送協会秋田放送局との土地交換契約に基づき、新放送会館建設用地から汚染土壌等を搬出し処理します。

消防施設アスベスト除去経費

土崎消防署などの車庫天井に使用されているアスベスト含有吹き付け材を撤去します。

第2リサイクルプラザ(仮称)整備事業

国庫補助金の追加内示があったことと事業費が概ね確定したことにより、18年度事業を前倒しして増額補正するとともに、継続費の設定を補正しました。

- 補正額 1億9千96万4千円

- 補正額 1千400万円

- 補正額 762万8千円

- 補正額 431万7千円

- 補正額 9千976万3千円

意見書

秋田市議会の意見として、国会および関係行政庁に提出しました。

- 出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律及び貸金業の規制等に関する法律の改正に関する意見書
- 法務局職員の増員に関する意見書
- 記録的な豪雪に対する緊急財政支援等に関する意見書（1月臨時会）

陳情の結果について

採 択

- 法務局職員の増員に関する意見書の提出について
- 子宮頸がん検診の逐年実施について
- 出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律及び貸金業の規制等に関する法律の改正に関する意見書の提出について

趣旨採択

- 地方交付税、地方財政の確保に関する意見書の提出について

不採択

- 介護保険の改善について
- 患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかる医療」の実現に関する意見書の提出について
- 社会保障制度充実と最低保障年金制度創設に関する意見書の提出について
- 庶民大増税の中止に関する意見書の提出について
- イトーヨーカドー撤退問題と秋田駅前の活性化について
- 就学援助制度の国庫負担の復元に関する意見書の提出について

継続審査

- 安全で行き届いた医療・介護を保障するための看護職員等の人手不足の緊急改善に関する意見書の提出について



介護保険事務処理システム改修経費

介護保険制度改正により、18年4月から施行される所得段階設定方法の見直し等に対応するため、介護保険事務処理システムの改修を行います。
・補正額 3千720万2千円

支援費制度等システム運用経費

障害者自立支援法施行に伴い、給付されるサービス種類の細分化等に対応するため、現行の支援費制度等システムの改修を行います。
・補正額 593万3千円

16年度決算

16年度の秋田市一般会計および特別会計の決算、ならびに合併に伴い打ち切り決算となった河辺町一般会計および特別会計、雄和町一般会計および特別会計、河辺雄和地区消防一部事務組合一般会計の決算については、11月臨時会において決算特別委員会を設置し、11月15日から18日までの4日間審査を行い、12月定例会で認定されました。決算特別委員会の委員は次のとおりです。

決算特別委員会

委員長 柏谷 幸彦
副委員長 菅原 弘夫
委員 長谷川 昭一
荻原 守
工藤 四郎
小野寺 誠
菊地 達雄
石川 ひとみ
土田 整
明井 美

人事

教育委員会委員

齊藤 宣子氏（新任）

固定資産評価審査委員会委員

阿部 千鶴子氏（再任）

人権擁護委員

高山 万紀子氏（新任）
稲場 みち子氏（新任）
三浦 清氏（再任）
松田 和利氏（再任）
中川 淑子氏（再任）
三浦 憲子氏（再任）
天野 博子氏（再任）

単行案

1月臨時会

除排雪経費に不足をきたすことから、12月26日に5億円、1月17日に10億円の増額補正を行うため専決処分した2件を承認しました。

人事

助役

飯塚 明氏（新任）

教育委員会委員

高橋 健一氏（新任）

聞きました

議案以外の市政全般にわたり、
10人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

秋水会 渡辺 正宏

◇市長の政治姿勢◇18年度予算◇下水道料金徴収問題◇4核1軸構想◇秋田市民に対するホスピタリティ◇秋田市民以外の来街者に対するホスピタリティ

中長期的タームを踏まえた市長の政治姿勢は

問 18年度の市政運営の柱となるべき政策について、どのように考えていますか。

答 市長公約に掲げた「陸・海・空 交通機能を活かした高次集積都市の実現」など3つの政策形成ビジョン実現のための指針として次期総合計画を策定します。加えて、市民協働・都市内地域分権の推進のため、(仮称)西部地域市民サービスセンターの19年度の建設着手を目指し市民参加のワークショップ等を開催するほか、中通一丁目地区市街地再開発事業については、歴史・文化施設とお祭り広場の公共公益施設としての整備の検討や、中央街区全体の活性化を見据えた仲小路の再構築に取り組みます。

4核1軸構想の見直しを

問 現況に合わせた大幅な見直しを行い、4核を総花的にとらえず、どこかに勢力を傾注する方がより現実的ではありませんか。

答 4核1軸構想は、仲小路を東西軸とし、秋田駅の東口から旧産業会館跡地までの地域に4つの核を配置し、官民のパートナーシップによる都市の再生を目的としたものですが、今後は、民間の開発動向や中心市街地の将来構想を勘案し、それぞれの核の持つ機能や事業のあり方等について、見直しを行っていく必要があると考えています。

市民クラブ 鳥井 修

◇行財政改革◇教育行政◇スポーツ行政

公立小中学校における感動の教育の取り組みは

感動の教育の取り組みは

問 感動の教育について、どのように考えるのか、どのように取り組んでいくのですか。

答 感動は人の心を揺さぶり、動かす大きなエネルギーであり、感動を伴う教育活動の推進は重要であると考え、学校教育の重点の第一項目として「感動体験の共有化を図る教育活動の推進」を掲げています。具体的には、小学校では本の読み聞かせなど、中学校では心一つにする合唱コンクールなどにおいて感動を共有する教育活動を展開しているほか、教育委員会主催の中学校文化フェスティバルは、文化活動を通して学校を越えた感動を分かち合える機会になっています。今後も、より多くの感動あふれる教育活動の展開に努めていきます。



中学校文化フェスティバルは、文化活動の発表の場となっています

秋田わか杉国体に向け スポーツ行政の強化を

スポーツ行政の強化を

問 スポーツ行政の強化のため、競技者および指導者の確保が求められますが、職員採用についてどのように取り組んでいますか。

答 職員採用に当たっては、地方公務員法に基づいた客観的で公正な試験を実施するため、一次試験で学科試験を実施しています。その上で、近年は一次試験合格者数を従来よりふやし、面接試験を通じて、スポーツにおける活躍など多様な能力や活動を含めた総合的な評価のもと人材を確保しており、スポーツ活動に秀でた職員も採用しています。

社会・市民連合 鈴木 忠夫

◇市長の政治姿勢◇次期秋田市総合計画◇第5次秋田市総合都市計画◇秋田市都心軸計画◇中央街区の都市機能◇秋田駅東第三地区土地区画整理事業◇交通政策◇平成18年度予算編成における施策と財源確保◇地方分権と都市内地域分権◇新庁舎の建設計画◇北部地区の諸課題

大森山動物園にカバの展示を

問 多くの課題はありますが、新規動物の導入に当たってはカバを重要な候補の一つとし、展示していく考えはありませんか。

答 新たに導入したい動物のアンケートでは、大型動物のカバが最も人気の高い動物の一種にあげられており、新規動物の導入に当たっては重要な候補の一つと考えていますが、開園以来32年が経過し、老朽化した施設の整備などが喫緊の課題となっている現状では、カバの導入に直ちに着手することは難しく、長期的な視点で検討していきます。

(仮称) 市民サービスセンターに 事務権限の移譲を

問 身近なサービスは身近なところで受けられるよう(仮称)市民サービスセンターに事務と意思決定の権限を移譲できませんか。

答 本市では、都市内地域分権の推進として、市民サービスセンターに本庁からの事務とその意思決定権限を分散することを検討しており、このほど都市内地域分権推進委員会を設置し、本庁の権限および予算の移譲ならびにそのための組織、分散可能事務および施設機能の調査検討などを行っているところです。

フォーラム21 土田 整

◇中通一丁目地区市街地再開発事業を含む中央街区全体の活性化◇秋田市大森山動物園◇公設化後のポートタワーセリオンの運営◇道路特定財源にかかわる本市における道路整備

中央街区全体の今後の開発計画は

問 仲小路を含めた中央街区全体の活性化のため、どのようなことを考えているのですか。また、再開発事業の早期立ち上げのため、どのような支援をしていくのですか。

答 中央街区については、4核1軸構想を基本コンセプトに整備に取り組んでおり、今後は中通一丁目地区と旧産業会館跡地に関して、民間の開発動向や中心市街地の将来構想を勘案し、機能面で一定の見直しを図ったうえ整備する必要があると考えています。また、再開発の早期立ち上げに向けた支援については、市の構想である歴史・文化施設等について調査を進めているところであり、今後は官民が適切な役割分担のもと、計画の具体化を進め、早期事業化を図っていく考えです。

セリオンの今後の運営方針は

問 セリオンにつき込まれた補助金は25億円にものぼることから、失敗を繰り返さないためにも、公設化後は新たな体制と発想をもった運営が必要ではありませんか。

答 セリオンが本市のシンボル施設として広く定着していることを踏まえ、その知名度や港に立地している特性を最大限に生かし、市民にとってより魅力あるにぎわいの場としていくことを主眼に捉えています。その運営としては、イベント実施や展望といったこれまでの集客手法について、低料金化も含め再検討していくとともに、より多くの集客が期待できる道の駅的な機能の付加や人々が憩い楽しめる民間施設の導入などの実現性について、早期に検討していきます。



18年度中に公設化が予定されているポートタワーセリオン

日本共産党 秋田市議会議員団 佐々木勇進

◇市長の政治姿勢◇子供の安全・安心の確保◇介護保険◇カジノ創設サミット◇本市のまちづくり◇マンションなどの耐震強度偽装問題と自治体の責任

介護保険の充実のために 市の独自策を

問 介護保険の適用除外になったデイサービス、ショートステイの食費と居住費に、市は独自の負担軽減策を行うべきではありませんか。

答 今般の制度改正は、給付と負担が公平となるよう保険給付の範囲を介護に要する費用に重点化し、居住や食事に要する費用は対象外とするものです。このことから、市独自の負担軽減策については、制度改正の目的であるサービスを利用する方としない方の負担の公平性の観点から実施は考えていません。

雄和育英会の運営経過と 責任の所在を明らかに

問 多くの債務を残し解散することとなった財団法人雄和育英会の運営経過と責任の所在を市民に明らかにすべきではありませんか。

答 雄和育英会は、ミネソタ州立大学秋田校設置に伴い、旧雄和町などの出資により設立され、同校および国際教養大学の学生寮の運営を行ってきた背景を前提として、合併協議会の十分な審議を経て本市に引き継がれたものです。このことは市議会の特別委員会で審議されたほか、その経過や結果は広報あきた等を通じて周知しており、市民を含めた議論は十分に尽くされたと認識しています。

聞きました

議案以外の市政全般にわたり、
10人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および主な
質問と答弁の要旨を掲載しています。

公明党秋田市議会 成沢 淳子

◇市長のリーダーシップと二〇〇七年問題
◇行政改革と市民協働◇男女共生・次世代
育成支援室設置の経過◇市民サービス向上
◇学校教育◇住宅火災の予防と罹災者への
対応◇秋田拠点センターアルヴェ◇裁判員
制度

児童を守る安全対策の強化を

問 登下校時の児童を守るため、地域と連携した安全対策および警察や地域関係団体との情報共有をどのように行っているのですか。

答 各小学校において、PTAや地域団体等で組織する安全対策委員会を立ち上げ、通路のパトロールや通学路安全マップによる危険箇所の点検を行っています。また、県警本部から小中学校等に、不審者情報などが電子メールで一斉に届く体制が整備されており、安全対策委員会ではこうした情報を共有し、活動に反映しています。今後は、保護者や地域住民への情報提供のため、ホームページや電子メールなどの活用も検討していきます。



登下校時の児童の安全を守るための
取り組みが行われています

歳出削減に向けたシステム導入を

問 次期行政改革大綱策定に当たり、歳出削減のために、外部の視点から個々の事業の実施の適否等を見直す「事業仕分け」手法の導入を検討すべきではありませんか。

答 「事業仕分け」手法は、市職員と市民や外部専門家が徹底的に議論を行い、その結果を事業の見直しに反映させることにより、歳出削減や市職員への刺激、事業に係る市民への説明責任を果たすなどの効果が見込まれます。行政改革の推進に効果がある手法は、必要に応じて導入していく方針であり、同手法についても積極的に調査検討していきます。

新社会党・護憲連合 前田 喜蔵

◇市長の政治姿勢◇下水道料金問題◇南ヶ丘ニュータウン問題◇福祉問題◇交通事業問題◇秋田わか杉国体に向けた史跡秋田城跡の施設整備と一大キャンペーン

下水道使用料未徴収問題における方針転換の経緯と職員の処分は

問 未徴収の下水道使用料は遡及請求しないという方針を撤回して遡及請求すると判断したのはどのような理由からですか。また、職員の処分を行う予定はあるのですか。

答 市民や議会からの意見に加えて、市長から遡及に向けた再検討の指示があったことを受け、慎重に遡及請求の可否を検討した結果、可能と判断されるものについては遡及請求することと決定したものです。また、職員の処分については、現在調査委員会が進めている調査により事実関係を明らかにした段階で、適切に対応していきます。

介護保険事業財政調整基金を 保険料引き下げに充てるべきでは

問 15、16年度の介護保険事業会計の決算が黒字となった要因は何ですか。また、基金残高は幾らですか。さらに、基金を保険料引き下げに充てるべきではありませんか。

答 15、16年度が黒字となったのは、市内の療養型医療施設がなくなり、給付費の見込み額と実績に大きな差が生じたことが主な要因です。基金残高は現在13億9千851万1千円であり、第3期事業計画における給付費の見込み算定と合わせ、保険料の調整財源として活用することを検討しています。

秋水会 齊藤 善悦

◇市町合併◇中核市として、県都としての役割◇新市建設計画と合併協定◇地域の諸課題

中核市・県都としての役割は

問 県と本市の関係の現状と望むべき方向についての考え方と、県の「県都秋田市との協働による活力ある地域づくりプロジェクト」の内容はどのようなものですか。

答 県と本市とは基本的に対等・協力という関係にあると認識しており、今後も秋田の将来を見据えるパートナーとして、施策立案・推進における密接な連携が不可欠と考えています。また、同プロジェクトは本市の拠点都市としての発展と波及効果による圏域全体の地域力向上を目的としたもので、本市のまちづくりと方向性を一にすることから趣旨に賛同するもので、18年度に立ち上げられるプロジェクトにおいて、県・市協働のもと本格的に詳細が検討されることになっています。

臨空港地域の有効活用を

問 秋田空港・中央公園・国際教養大学等社会基盤整備が進む臨空港地域を、企業誘致を含めてどのように活性化していくのですか。

答 高速交通体系の中核となる臨空港地域は高いポテンシャルを持つと認識しており、企業誘致でも一定の優位性を持つほか、スポーツ施設や国際教養大学等を活用した広域的イベントの誘致・開催にも地域の特色を活かせると考えています。今後は、他の交通基盤とのネットワーク形成を促進しながら、周辺施設の有効活用にも努めるとともに、県の七曲臨空港工業団地等を利活用しながら、県と連携し企業誘致に努めていきます。

秋水会 小木田喜美雄

◇市政運営に対する市長の基本姿勢◇次期行政改革大綱◇秋田市高齢者プラン◇上下水道事業◇秋田拠点センターアルヴェ◇秋田わか杉国体◇道路の除排雪◇農業試験場跡地の利活用

秋田わか杉国体における 市民参加の計画は

問 国体における市民参加の進捗状況および今後の計画はどうなっているのですか。

答 国体は市民の協力なくしては成り立たないものと認識しており、具体的な業務内容や人数等について精査しているところです。大会運営には市職員をはじめ相当数の市民の協力が必要であることから、既に各地区体育協会等に協力を要請しており、今後の予定としては、具体的な人数等がまとまり次第、市民の公募等も含め協力体制を確立していきます。

農業試験場跡地の利活用は



秋田わか杉国体のマスコット「スギッチ」がさまざまなイベントに参加して国体をPRしています

問 市の利活用計画案提出後の県の方針を受けた庁内協議の状況はどうですか。また、多目的広場を整備する考えはありませんか。さらに、跡地内道路をどう整備するのですか。

答 県の意向を受け庁内協議を行った結果、跡地南側部分約3.0ヘクタールは市民農園の整備を核とすることとし、現在、農林部で策定している整備計画案について、年度内にも県の了解を得られるよう協力を求めていくこととしています。また、多目的広場などの市民農園以外の施設整備については、市民要望を踏まえつつ県の跡地全体の利活用方針を見ながら判断していきます。さらに、跡地内道路はできるだけ早い時期に市道認定ができるよう、現在、県と調整を図っているところです。

秋水会 加賀谷正美

◇財政◇少子高齢化と人口減少社会への取り組み◇セリオン公設化とポート秋田株式会社への取り組み◇秋田市中大小売商業活性化ビジョン◇市町合併後の取り組み◇しあわせづくり秋田市民公聴条例◇情報の収集と県との連携◇クアドーム「ザ・ブーン」の利活用

地域の商店を守る対策を

問 大型店舗等の進出による影響から地域の商店を守る対策と、撤退後に商店を再生させるための手段について、どう考えていますか。

答 大型店進出に見舞われた地域の商店街としても大型店と協力して共同事業を実施するなど、商店街全体の集客力を高めていくことも対応策の一つと考えます。また、商店の再生については、融資あっせん制度による新規出店の資金調達や商店街空き店舗対策事業の補助制度により支援していますが、次期策定の商業振興ビジョンの中で、商店街と協議しながら支援施策の再構築を図っていきます。

セリオンの公設化後の活用は

問 公設化後の活用については、幅広く指定管理者制度を適用し、道の駅等も含め早急に活用策を検討すべきではありませんか。

答 セリオンが「みなとオアシスあきた」として登録されたメリットや施設の知名度を有効に活用できるよう、道の駅的な観光機能の充実や公益機能、民間施設の導入など秋田港一帯の地域振興に資するべく利活用方法を検討していきます。その結果を踏まえ、指定管理者制度導入の適否を決定しますが、適用の場合は、秋田港振興センターとの一括した管理運営を考えており、公募の上選定します。

常任委員会

12月定例会における各常任委員会の審査の概要です。

総務委員会

秋田市火災予防条例の一部を改正する件、平成17年度秋田市一般会計補正予算の件など4件の議案を審査し、いずれも可決しました。また、法務局職員の増員に関する意見書の提出についてなど4件の陳情を審査し、1件を採択、1件を趣旨採択、2件を不採択としました。さらに「下水道使用料賦課誤り等の調査結果報告書」により、遡及請求をめぐる方針や不適正な事務処理の発生原因等について、調査を実施した総務部から報告がありました。その中で、一連の事務処理誤りの原因は、旧下水道部では前例踏襲による職務怠慢であり、上下水道局では法令解釈の誤りによるものと整理した上で、今後の対策として、法令に則った遡及請求の方法と、組織的な再発防止策として、組織人事面での検討、マニュアル等の整備、管理監督者の資質向上、全戸番皆調査の実施、下水道使用料賦課徴収事務の効率化、文書の適正な保存の6項目が示されました。

厚生委員会

秋田市立夜間休日応急診療所の指定管理者を指定する件、平成17年度秋田市介護保険事業会計補正予算の件など11件の議案を審査し、いずれも可決しました。また、介護保険の改善についてなど陳情7件を審査し、2件を採択、4件を不採択、1件を継続審査としました。

教育産業委員会

秋田市大森山動物園条例を設定する件、秋田市河辺ユフォーレ公園施設の指定管理者を指定する件など14件の議案を審査し、いずれも可決しました。また、就学援助制度の国庫負担の復元に関する意見書の提出についてなど陳情2件を審査し、いずれも不採択としました。

建設委員会

秋田市太平山スキー場および太平山リゾート公園の指定管理者を指定する件、土地交換契約により引き渡す土地の土壌汚染に係る和解および損害賠償に関する件など10件の議案を審査し、いずれも可決しました。また、総務委員会と同様に、下水道使用料賦課誤り等の調査結果報告がありました。

議会の動き

議会制度に関する研究会を充足



今後の議会のあり方について、代表・一般質問、委員会の審査方法、議員の定数などを研究、検討するための議長の私的諮問機関として、議会制度に関する研究会を11月21日に設置しました。会議は概ね月に1回のペースで開催し、18年6月および11月に答申する予定です。研究会の構成員、諮問事項等は次のとおりです。

- 構成員
三浦芳博（座長）
長谷川昭一、相原政志、鈴木忠夫、土田整、加賀屋千鶴子、成沢淳子
- 諮問期間
17年11月から18年10月まで
- 諮問事項
- 1 代表・一般質問に関する調査
 - 2 常任委員会の審査に関する調査
 - 3 議員定数に関する調査
 - 4 議員報酬、費用弁償および政務調査費に関する調査
 - 5 議会への市民参加に関する調査

秋田市議会 災害対策会議の設置

12月24日の秋田市雪害対策本部の設置に伴い、秋田市議会雪害対策会議が、また、1月5日の秋田市災害対策本部の設置に伴い、秋田市議会災害対策会議が設置されました。対策会議は、議長、副議長、各会派会長、常任委員長および議会運営委員長から構成されており、秋田市災害対策本部と連携を図りながら、災害状況の把握、通報および連絡、関係行政庁に対する対応に努めています。

次回の定例会は2月です。

9月定例会閉会後から1月までの議会の主な活動状況は次のとおりです。

- 10月**
- 7日 議会だより編集委員会
 - 13日 議会だより編集委員会
 - 17日 総務委員会行政視察（～19日）
 - 19日 教育産業委員会行政視察（～21日）
 - 25日 議会運営委員会
 - 26日 厚生委員会行政視察（～28日）
 - 建設委員会行政視察（～28日）
- 11月**
- 7日 11月臨時会
 - 総務委員協議会
 - 建設委員協議会
 - 15日 決算特別委員会（～18日）
 - 21日 建設委員協議会
 - 議会運営委員会
 - 29日 議会運営委員会行政視察（～30日）
- 12月**
- 5日 12月定例会（～22日）
 - 22日 議会だより編集委員会
 - 27日 秋田市議会雪害対策会議
- 1月**
- 6日 議会だより編集委員会
 - 10日 議会運営委員会
 - 11日 総務委員協議会
 - 16日 議会だより編集委員会
 - 17日 秋田市議会災害対策会議
 - 24日 1月臨時会

